

「超」情報革命が日本経済再生の切り札になる

野口 悠紀雄

{ ディープラーニングでコンピューターが進化 }

エパゴギクスという会社は脚本だけで映画の興行成績を事前に予測する「アルゴリズム」を開発、未公開の映画9本をアルゴリズムで解析、映画の上映が終了した時点で予測と結果を比較したところ9本のうち6本は驚くほどの的中していた。

評価だけでなく、脚本づくりのアドバイスもリリース前のCDを評価した中で、ビートルズ並みのヒット可能性があるという評価されたCDが実際に2千万部以上の売り上げを記録しグラミー賞8部門を受賞した。

バッハの曲を学習データとして使用し、新しい曲を作り多くの音楽家が絶賛した。

{ ペコダという評価システム }

野球の若手選手の発掘に用いられプロのスカウト並み成果！

{ 人工頭脳時代の文章の書き方 }

文章を書くスピードが10倍になる、スマホの音声認識入力機能を利用してメモ・メールを作成し、手書きの上、PCで受信し、編集する。

アップルは2015年6月に音声認識精度が業界最高の単語誤認率を5%にまで改善。オートメイトッド・インサイト社の自動出版プラットフォームは1年間にスポーツ記事を10万件作成、どちらが人間の書いたものか区別できない。

{ 人工頭脳とビッグデータはいかなる世界を作るか？ }

1. 個人の反応予測でマーケティング
2. ごく少数の企業の一人勝ち現象が起こる

実際に、グーグル・アマゾン・フェイスブックなど高い収益を上げ、巨額の時価総額を実現している。

{ Uber というハイヤー・タクシーの即時手配サービス }

スマホに入れたアプリに行き先を入力してタクシーを呼べるだけでなく、車の到着時間・料金目安が分かる、タクシー会社側にも稼働率アップのメリットがある、すでに52ヶ国250以上の都市で実施、年に6倍の成長をしている(未上場株式時価総額4, 8兆円)

{ Airbnb 宿泊場所と旅行者をつなぐ }

2015年ゲスト数は世界で3500万人、同社の評価は100億ドル。

{ インターネットが生むフリーの専門家 }

フリーランスとは特定の企業か組織に所属せず独立して事業を行う、アメリカの現状

* 独立した契約者で雇用主がない~800万人

* 夜間労働者1400万人のうち、27%

* 複数の仕事を持つ900万人のうち、18%

* 一時労働者の600万人うち、10%

企業の75%がフリーランサーを利用、アメリカ人の53百万人超がフリーランス事業者

{ アベノミクスでは日本は復活しない }

マイナス成長が明確に示す経済政策の根本的な誤り。

2014年度マイナス成長の原因は実質消費の落ち込み、実質GDP成長率は $\Delta 1, 0\%$ 政府目標の $\Delta 0, 5\%$ より落ち込みが激しかった、円安で企業収益は好調にもかかわらず設備投資は前年比 $\Delta 0, 5\%$ 最大の原因は実質家計最終消費支出が対前年比 $\Delta 3, 3\%$ 名目賃金は対前年比1%増なるも、実質賃金は $\Delta 3\%$ と4年連続マイナス。

原油価額下落で一時的に成長率は上がったが、再びマイナス成長、円安が進行しても輸出数量は伸びない、マイナス成長は構造的なもの、これまでGDPを支えてきたのは駆け込み需要と政府支出。

インフレ目標は取り下げるべきで誤りが明白になった2%成長目標も然り。

{ TPPは成長戦略になりえない }

自動車関税撤廃に25年もかかる、TPPは中国抑制のための戦略。

{ シルクロード経済圏・21世紀の海のシルクロード }

中国は独自経済圏の形成に進む、構想実現への取り組みを加速している。

400億ドルの基金を創設しAIIB (アジアインフラ投資銀行) の資本金1000億ドルの半額は中国が拠出して主導権を握っている。